

幸せに、なるために。

ロンドン。彼女はただ生き抜きたかった。  
息子を幸せにしたかった。  
そのための「自由」があると彼女は信じた。



『麦の穂を揺らす風』  
監督 ケン・ローチ 脚本 ポール・ラヴァティ

# この自由な世界で

心震え、笑い、涙し、いつしか声なき者たちの声が聞こえる。名匠ケン・ローチの新たな傑作。



監督 | ケン・ローチ 脚本 | ポール・ラヴァティ 出演 | キルステン・ウェアリング、ジュリエット・エリス、レスワフ・ジュリック  
原題 | It's A Free World... 2007年 | イギリス=イタリア=ドイツ=スペイン合作 | 96分 | カラー | 1:1.85 | ドルビー-SRD 宣伝 | ムヴィオラ 配給 | シネカノン cine@uanon

DIRECTED BY **KEN LOACH** SCREENPLAY BY **PAUL LAVERTY** **KIERSTON WAREING** **JULIET ELLIS** **LESŁAW ZUREK**

SIXTEEN FILMS BIM DISTRIBUZIONE EMC PRODUKTION TORNASOL FILMS SPI INTERNATIONAL CHANNEL FOUR FILMSTIFTUNG NORDRHEIN-WESTFALEN POLISH FILM INSTITUTE DIAPHANA DISTRIBUTION PATHE DISTRIBUTION CINEART FILM COOP KIERSTON WAREING JULIET ELLIS LESŁAW ZUREK "IT'S A FREE WORLD..."  
PRODUCTION DESIGNER FERGUS CLEGG PHOTOGRAPHER NIGEL WILLOUGHBY SCULPTOR ROBERT RAY BECKETT COSTUME DESIGNER KATHLEEN CRAWFORD LOCATIONS EMMA WOODCOCK SOUND EDITOR KEVIN BRAZIER COSTUME DESIGNER CAROLE KFRASER LINE PRODUCER TIM COLE EDITOR JONATHAN MORRIS MUSIC GEORGE FENTON EXECUTIVE PRODUCER ULRICH FELSBERG  
SCREENPLAY PAUL LAVERTY PRODUCED BY REBECCA O'BRIEN DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY KEN LOACH A SPITZER/STARR/FILM/ANSPIRATIONS/OLIVECO PRODUCTION © SIXTEEN FILMS LTD. BIM DISTRIBUZIONE ERIC GARDIN AND TORNASOL FILMS S.A. IMMS

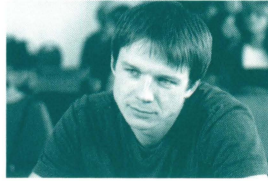
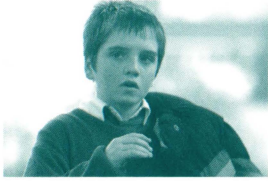


www.kono-jiyu.com



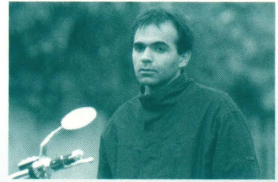
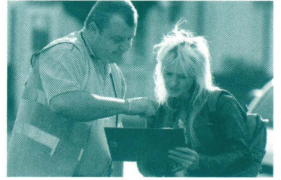
世界を感動で包んだ『麦の穂をゆらす風』から2年。  
名匠ケン・ローチの本領といえる感動作は、ロンドンの片隅で生きる人々の物語。

世界中を感動で包んだカンヌ映画祭パルムドール大賞『麦の穂をゆらす風』から2年。いかに名匠とはいえ、これほどの傑作をつづけて完成させるとは！ ベネチア映画祭で誰もが抱いたのは、そんな感慨だった。ベネチアでは最優秀脚本賞の荣誉に輝いた本作だが、贈られた賞賛にはケン・ローチ監督への尊敬が込められ、最高賞にも勝るほどだった。ローチ監督が今回描くのは、ロンドンの片隅で必死に生きる女性と、ロンドンへ仕事を求めてやってくる移民たちの物語。つねに現実を深く見つめ、市井の人々の生きる姿を瑞々しい詩情と逞しいユーモア、そして胸に響くエモーションで描く。『この自由な世界で』は、それらが奇跡のように存在するまさにローチ印の傑作だ。



本当にそれでいいの？ アンジーの気持ちが痛いほどわかる。  
これは私たちが生きる「自由な世界」の物語。

一人息子ジェイミーを両親に預けて働くシングル・マザーのアンジー。仕事がうまくいったら息子と一緒に暮らすつもりだ。彼女は思いきって自分で職業紹介所を始める。外国人の労働者を企業に紹介する仕事だ。必死にビジネスを軌道にのせるアンジーだが、ある日、不法移民を働かせる方が儲けになることを知る。もっとお金があれば息子と暮らせる、もっと幸せになれる。彼女は越えてはいけない一線を越えてしまう。そして事件が起こった……。競争によってより大きな利益を迫る社会、それは「自由市場」と呼ばれる世界。イギリスも日本も同じだ。だから、日本に生きる私たちにも彼女の気持ちは痛いほどわかる。しかし彼女の幸せは、誰かを犠牲にする。「アンジー、本当にそれでいいの?」。そう問いかけるのは、娘を理解しようとする父親ジェフや彼女を想う移民青年のカロルたち……。彼らの想いもまた心に沁みる。すべての登場人物の心がこれほど胸に迫る映画は数少ないだろう。



**Free** [fri:] adj. 1 (人が) (奴隷の状態になく)自由の身の自由な; (国土地が)自由な人の(ためにある) 2..... (2) 『経済』(経済取引・貿易が) (関税障壁などを伴わない)自由制の、無統制の..... 4 (人・思想・意志・行動などが) 外部の干渉〔困難〕にとられない、拘束されない.....

\*ランダムハウス英和辞典第2版より抜粋

# この自由な世界で

🏆 2007ベネチア国際映画祭 最優秀脚本賞

2007セビリア映画祭 最優秀作品賞 2007英国インディペンデント映画賞 主演女優賞ノミネート・新人賞ノミネート 2008BAFTA主演女優賞ノミネート

監督 | ケン・ローチ 製作 | レベッカ・オブライエン 脚本 | ホール・ラヴナティ 音楽 | ジョージ・フィントン 撮影 | ナイジェル・ウィロウビー  
出演 | キルステン・ウェアリング、ジュリエット・エリス、レスワフ・ジュリック 2007年 | イギリス=イタリア=ドイツ=スペイン合作 | 96分 | カラー | 1:1.85 | ドルビー-SRD 原題 | It's A Free World...  
字幕翻訳 | 齊藤敦子 宣伝 | ムヴィオラ 配給 | シネカノン cine@uanon © Sixteen Films Ltd, BIM Distribuzione, EMC GmbH and Tornasol Films S.A. MMVII

www.kono-jiyu.com

NPO 松本 CINEMA セレクト上映会 10月31日(金) 会場 エンギザ 21時～

前売券1400円(エンギザ/カタクラモール/ラスティック/エオン/信大生協などで発売中。)

当日券 一般1800円 大・高生1400円 セレクトメンバー 一般1200円 学生1000円

問一松本CINEMAセレクト 0263-98-4928 <http://www.cinema-select.com/> 携帯 <http://www.cinema-select.com/i/>